

令和4年度西都・児湯エリア部会

1 研究主題

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

2 活動内容

(1) 活動内容

月	日	会議及び活動内容	
5	26	第1回役員会	・令和4年度役員の確認 ・令和3年度事業報告、収支決算報告 ・部会会則及び部会の運営に関する確認 ・令和4年度事業計画、収支予算案審議 ・令和4年度研究大会に関する検討
7	6		・研究大会にむけた接続テスト
7	29		・第24回 県特研連研究大会（西都・児湯エリア部会研究大会） 講演「次への意欲につなげるために」 香川大学 坂井聡氏
9			・アンケート集計及び課題の検討
12	下旬		・令和4年度収支決算・会計監査
2	9	第2回役員会	・令和4年度事業報告、収支決算報告審議 ・令和5年度事業計画案、収支予算案審議 ・西都・児湯エリア部会の運営に関する検討 ・令和5年度役員の確認 ・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会課題まとめ
3	下旬		・事務局引き継ぎ

3 エリア部会の成果と課題

成果

(1) 当日申し込み人数が800名を超え、後日オンデマンド配信分の視聴者（再生回数）が約400回であった。（うち、西都・児湯エリア部会の参加人数が当日110名）。

課題

- (1) 準備について、事務局以外の小・中学校担当者と作業を進めていくことが難しかった。県立⇄小・中学校間の連絡の取りづらさがあった。
- (2) 当日の機器トラブルへの対応、音声の聞きづらさなどが指摘された。
- (3) 教材・教具展などができなかった。

4 QRコードを使用したアンケート作成等の紹介

今回はアンケートについてQRコードを用いて回答いただく形をとった。その作成の手順について紹介する。



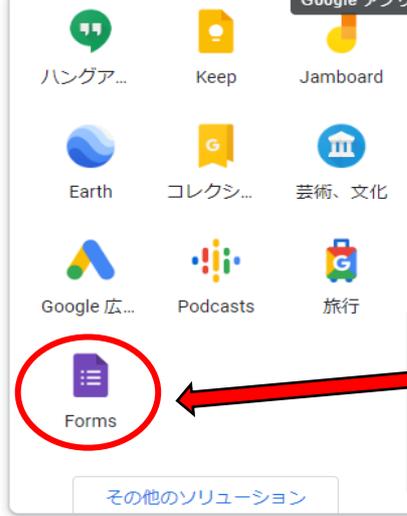
検索

フリー イラ... ショートカッ...

Gmail 画像

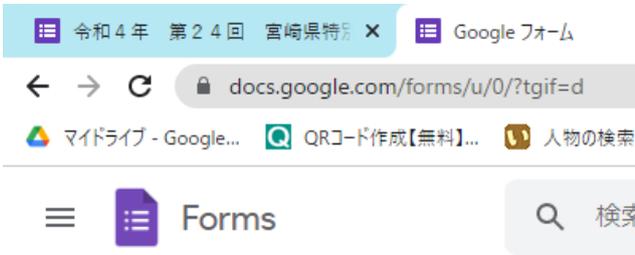


Google アプリ



① Google (グーグル) アカウ
ントを開き、右上の9つの点
のマークをクリックする。

② Forms をクリックする。



新しいフォームを作成



空白

③ 新しいフォームを作成する。
空白をクリックして開く。



令和4年度 第24回 宮崎県特別支援教育研究
連合研究大会 (午前の部) アンケート

本日は本研究会に御参加いただきありがとうございます。
以下のアンケートに御協力をお願いします。
午後の分科会についても別途アンケートが配布されます。
そちらも御協力をお願いします。

④ アンケートのタイトルをいれる。

⑤ 付け足したい文章があれば、タイトルの下に入力する。
※入力した内容は、自動的に Google ドライブに保存される。

進研ゼミ（特別の部）アンケート

本日は本研究大会に御参加いただきありがとうございました。
以下のアンケートに御協力お願いいたします。
午後の分科会についても別途アンケートが配布されます。
そちらも御協力お願いいたします。

⑥ 質問事項を入力する。

所属学校種を教えてください。

ラジオボタン

- オプション1
- 選択肢を追加 または 「その他」を追加

⑦ ラジオボタンにする。（1つだけ回答を選択することができる設定）
※複数選択できるボタンもある。

所属学校種を教えてください。

ラジオボタン

- 小学校
- 中学校
- 特別支援学校
- 選択肢を追加 または 「その他」を追加

⑧ 選択肢を入力する。

⑨ 「⊕」この記号をクリックすると、次の質問を入力できるようになる。

質問 回答 設定

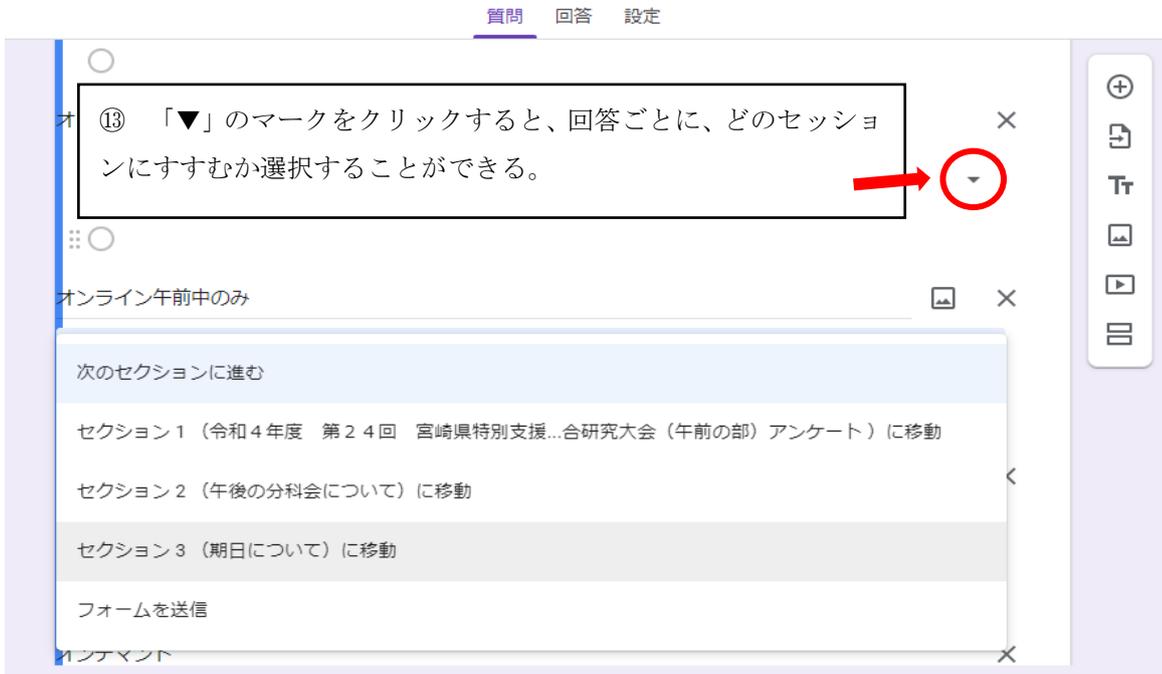
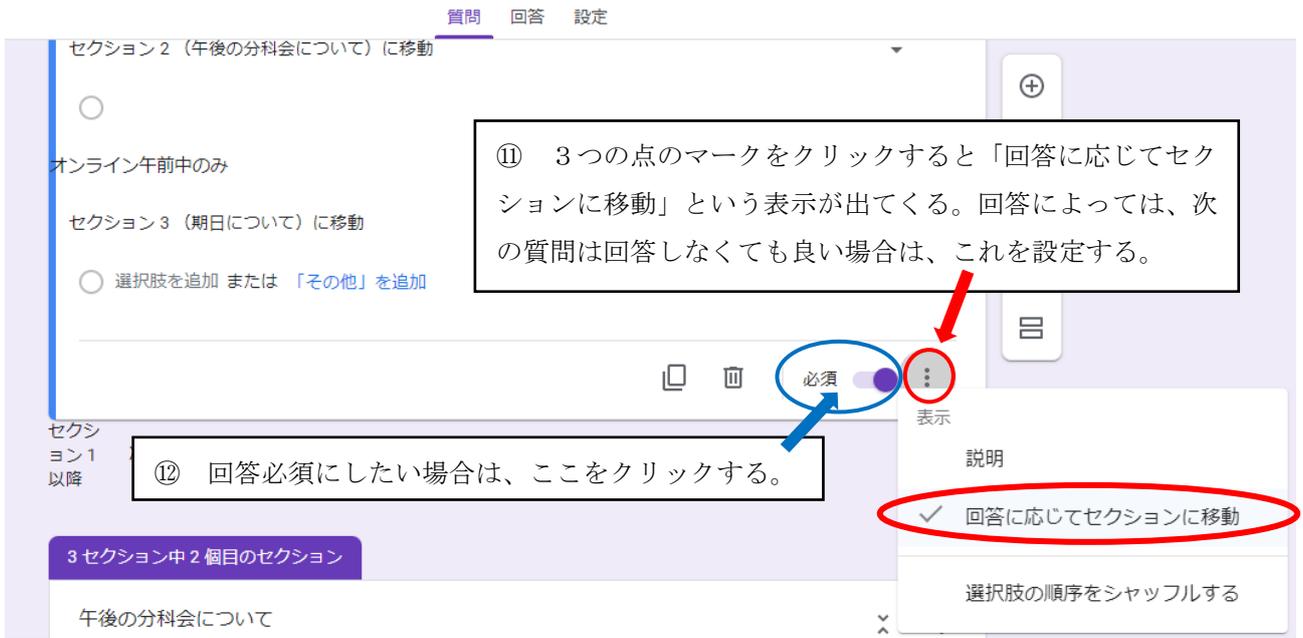
- オンライン一日参加
- オンライン午前中のみ
- オンライン午後のみ
- オンデマンド

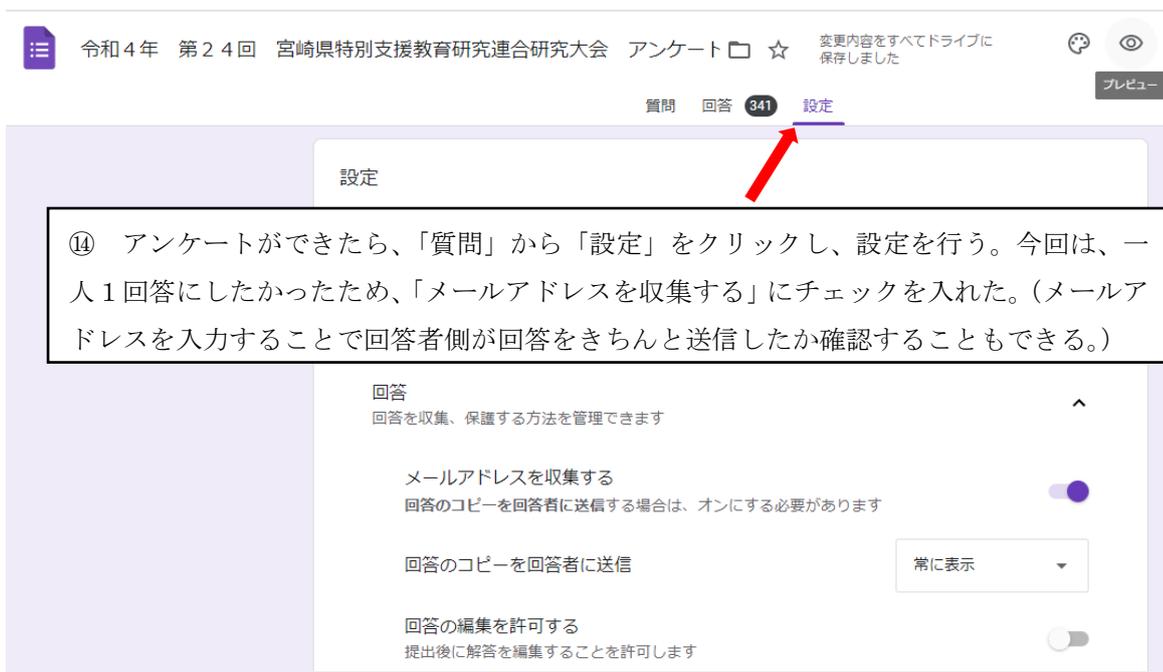
セクション1 次のセクションに進む以降

⑩ 質問の内容やジャンルが変わる場合、「=」この記号をクリックし、セクションを追加することもできる。
※セクションとは、次のページへ移動して、見えやすくする設定にできる。

2 セクション中 2 個目のセクション

午後の分科会について
説明（省略可）





以上のように、GoogleのFORMSで作成した。紙媒体でのアンケート調査と比較して、印刷費等のコスト削減、集計作業等事務作業が大きく減らすことができ、業務効率化、ペーパーレス化にもつながるといった利点が挙げられる。また、共同編集者を登録することで、学校が異なる場合でも一緒に編集・確認をすることができる。

一方で回答時に自身の端末を使用すること、メールアドレスなど個人情報を書き込む必要があることに抵抗がある方も多くいた。

今後、オンライン研修等も活発に行われていく中で、事後の事務作業効率化には大きく役立てると思う。次回研究大会担当校にも引き継ぐ中で、課題も整理され、より回答しやすく、かつ整理もしやすい形が検討していけると良い。